

# 第 1 章 本調査概要

## 1. 調査目的

本年、合計特殊出生率は 1.43 と微増ではあるが、このまま上昇傾向が続くかどうか不透明であり、依然として、社会経済の根幹を揺るがしかねない「少子化危機」ともいべき状況にある現在、更に少子化対策を加速化させなければならない。

これまでも少子化対策に継続的に取り組んできたが、少子化の進行に十分に歯止めがかかっているとはいえない。

現在も多くの若者が、将来家庭を持つことを望み、希望する子供の数は平均2人以上となっている。しかしながら、晩婚化・晩産化が進むとともに、生涯未婚率が上昇しており、結婚や妊娠・出産に対する国民の希望をかなえることができていない。こうした国民の希望をかなえる観点から、少子化対策は、政府を始め関係者挙げて取り組まなければならない喫緊の最重要課題である。

本調査研究では、当事者である 20 代から 30 代の未婚者・既婚者の、結婚、妊娠・出産、子育てについての意識を深掘し、不安要因や社会的背景の問題の抽出・分析を行い今後の施策立案に寄与するとともに、調査結果を広く公表することにより、国民意識の醸成を図るものである。

## 2. 調査内容

本調査「結婚・家族形成に関する意識調査」は、20 歳～39 歳の未婚・既婚の男女を対象とし、以下の内容から構成されている。

- (1) グループインタビュー調査
- (2) 郵送調査（回答方法は、郵送・インターネットの併用）

各調査は、内閣府が株式会社日本リサーチセンターに委託して実施した。

### 3. 調査研究委員会の概要

#### (1) 目的

本調査を効果的に遂行するため、有識者による調査研究委員会を設置し、調査方針、調査項目、設問内容、調査結果、報告書案等についての検討をする。

#### (2) 委員名簿

委員長	稲葉 昭英（慶應義塾大学文学部教授）
委員	岩澤 美帆（国立社会保障・人口問題研究所人口動向研究部第1室長）
	杉野 勇（お茶の水女子大学大学院人間文化創成科学研究科准教授）
	吉田 崇（静岡大学人文社会科学部准教授）

-50 音順・敬称略-

#### (3) 委員会日程と議題

調査研究委員会は、下記の日程で実施した。

##### 第1回

日時：平成26年10月8日（水）10:00～12:00

議題：調査全体計画及びスケジュールの確認

グループインタビュー実施方法及びインタビュー項目の検討

##### 第2回

日時：平成26年11月21日（金）10:00～12:30

議題：グループインタビューの調査結果の報告

グループインタビューの調査結果を踏まえた郵送調査の設問内容・項目の検討

##### 第3回

日時：平成27年1月30日（金）13:30～16:00

議題：郵送調査の調査結果報告

報告書の作成方針の協議

報告書の内容についての協議

##### 第4回

日時：平成27年3月6日（金）13:30～17:00

議題：報告書の内容についての協議

本調査の総括